

第 49 回 知的財産管理技能検定
3 級 実技試験
管理業務

(はじめに)

すべての問題文の条件設定において、特に断りのない限り、他に特殊な事情がないものとします。また、各問題の選択枝における条件設定は独立したものと考え、同一問題内における他の選択枝には影響しないものとします。

特に日時の指定のない限り、2024年5月1日現在で施行されている法律等に基づいて解答しなさい。

- 1 スポーツ用品メーカーX社のエンジニア甲は、野球のピッチング解析用のロボットAを開発している。甲は、ロボットAに関連して、特許法上の保護対象である発明か否かについて、発言1～2をしている。

発言1 「ロボットAはピッチング解析のためのものであって、プロ野球の投手の動きを再現したものであり、いわゆる個人の技能に関するものですから、特許法上の保護対象である発明に該当しません。」

発言2 「ロボットAを制御するためにピッチング解析に特化した新たなコンピュータ言語を開発しました。このようなコンピュータ言語は、特許法上の保護対象である発明に該当します。」

以上を前提として、問1～問4に答えなさい。

問1

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問2

【理由群I】の中から、問1において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群I】

- ア 自然法則を利用したといえないため
- イ 創作といえないため
- ウ 発明に該当するため

問3

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問4

【理由群Ⅱ】の中から、問3において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅱ】

- ア 自然法則を利用したといえないため
- イ 技術的思想といえないため
- ウ 発明に該当するため

2 飲料メーカーX社の甲は、著作物について、発言1～2をしている。

発言1 「最近人気の文房具を開発した文房具メーカーY社の乙を招いて、開発までの苦労話を講演してもらいました。この講演は、著作権法上の著作物として保護されます。」

発言2 「来春から、わが社は健康食品関係の新しい通信販売サービスを行う予定です。そこで、この通信販売サービスの名称として、カタカナ3文字からなるものを考えました。このサービスの名称を示した文字は、書道家丙が躍動感ある遊書でしたためたものだとしても、著作権法上の著作物として保護されません。」

以上を前提として、問5～問8に答えなさい。

問5

発言1について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問6

【理由群Ⅲ】の中から、問5において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅲ】

- ア 著作物にあたらなため
- イ 編集著作物にあたるため
- ウ 言語の著作物にあたるため

問7

発言2について、適切と考えられる場合は「○」を、不適切と考えられる場合は「×」を、選びなさい。

問8

【理由群Ⅳ】の中から、問7において適切又は不適切と判断した理由として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【理由群Ⅳ】

- ア 著作物にあたらなため
- イ 図形の著作物にあたるため
- ウ 美術の著作物にあたるため

3 問9～問26に答えなさい。

問9

製薬会社X社は、新規な抗がん剤に係る発明について、特許出願Pを出願し、その後、特許出願Pに基づいて、国内優先権の主張をした特許出願Qを出願した。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 特許出願Qに係る出願公開は、特許出願Pの出願日から1年6カ月経過した後に行われる。
- イ 特許出願Qは、特許出願Pの出願日から1年以内に出願することが必要である。
- ウ 特許出願Qに係る特許権の存続期間は、特許出願Pの出願日から20年をもって終了する。

問10

出版社X社の法務部の部員が、著作者が著作者人格権を行使することができない場合について検討している。ア～ウを比較して、著作者が著作者人格権を行使することができない場合として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア その著作者の未公表の音楽を、他人が無断で公表した場合
- イ その著作者の経歴や住所等の情報を、他人が無断でウェブサイトに表示した場合
- ウ その著作者の小説の題号を、担当編集者が無断で変更した場合

問11

台所用品メーカーX社は製品Aを製造販売している。X社は、競合メーカーY社の製品Bをターゲットにして、製品Aの製造方法に係るX社の特許権Pの権利行使について社内会議をしていた。ア～ウを比較して、X社の従業員の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「わが社は、特許権Pの出願日の3カ月前に製品Aに係る発明の内容を新聞で発表し、新規性喪失の例外の процедуруして特許出願をしました。製品Bの発売日はその新聞発表日の後ですが特許権Pの出願日前ですので、製品Bに対して、特許権Pに基づいて権利行使をすることはできないと思います。」
- イ 「製品Bは中国で生産されてドイツで販売されていますので、製品Bに対して、日本の特許権である特許権Pに基づいて権利行使をすることはできないと思います。」
- ウ 「特許権Pは製品Aの製造方法に係る発明であり、わが社は製品Aの構造に係る特許権を取得していないので、たとえ製品Bの製造方法が特許権Pを侵害するものであっても、製品Bに対して、特許権Pに基づいて権利行使をすることはできないと思います。」

問 1 2

菓子メーカーX社の知的財産部の部員は、X社が保有する商標権について確認したところ、主力製品であるクッキーについての商標Aに係る商標権Mが、存続期間の満了後既に5カ月を経過していることがわかった。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「商標Aについて再度、商標登録出願をした場合であっても、登録を受けられない場合があります。」
- イ 「まだ商標権Mの存続期間の更新登録の申請を行うことは可能ですが、その際には商標Aの使用証明書を提出する必要があります。」
- ウ 「商標権Mの存続期間は満了していますが、存続期間の満了後であっても他人は商標Aを使用できないので、そのまま放置しても問題ありません。」

問 1 3

半導体メーカーX社の知的財産部の部員は、特許協力条約（PCT）に基づいて国際出願をすることを検討している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「X社が国際出願した後、所定の期間内に国際調査機関に対して国際調査を行うことを請求しなければ、国際調査は行われません。」
- イ 「X社が国際出願した後、所定の期間内に国際予備審査機関に対して国際予備審査請求をした場合に限り、国際予備審査は行われます。」
- ウ 「X社は国際出願した後、国際調査機関に対して請求をしなくても、国際調査機関から国際調査の見解書が送付されます。」

問 1 4

映画会社X社の法務部の部員が、映画の著作物について検討している。ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 映画の著作物の著作権は、スタッフ全員がその製作に参加することを約束しているときは、映画監督に帰属する。
- イ 脚本家は、その映画の著作物の全体的形成に創作的に寄与しているので、映画の著作物の著作者となる。
- ウ 撮影や美術を担当したスタッフであっても、その映画の著作物の全体的形成に創作的に寄与したのであれば、映画の著作物の著作者となる。

問 15

X社は、落花生の新規な品種Aの育成に成功したことから、品種登録を受けることを検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の発言として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「植物の名称が既存の品種と紛らわしいものであってはなりませんが、植物の品種の名称が登録商標と紛らわしいものであっても種苗法上、問題なく品種登録を受けることができます。」
- イ 「繁殖が繰り返されることによって特性の一部が変化する場合でも、同一世代で特性が均一であれば品種Aについて品種登録を受けることができます。」
- ウ 「品種Aについて品種登録を受けるためには、出願前に国内又は外国で公知の他の落花生の品種と、明確に区別できる必要があります。」

問 16

ア～ウを比較して、コンビニエンスストアを経営するX社が意匠登録出願した意匠Dに関して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 意匠Dが、コンビニエンスストアの内装のデザインである場合、意匠法上の保護対象ではない。
- イ 意匠Dが、コンビニエンスストアのウェブサイトの商品購入用画像に係るデザインである場合、意匠法上の保護対象である。
- ウ 意匠Dが、コンビニエンスストアの外観のデザインである場合、意匠法上の保護対象である。

問 17

自動車メーカーX社の知的財産部の部員は、日本にした特許出願Pに基づいて、パリ条約上の優先権を主張して中国に特許出願Qをすることを検討している。ア～ウを比較して、部員の発言として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「特許出願Pに基づいてパリ条約上の優先権を主張して特許出願Qをした場合であっても、特許出願Qの出願日は、特許出願Pの出願日となりません。」
- イ 「特許出願Pに対して拒絶理由が通知された場合、特許出願Qについて特許出願Pに基づくパリ条約上の優先権の主張は認められません。」
- ウ 「特許出願Pについて出願審査の請求をした後は、特許出願Pに基づいてパリ条約上の優先権を主張して特許出願Qをすることはできません。」

問 18

靴メーカーX社は、商標登録出願をしていない商標Aを付した商品を販売していたところ、Y社から警告を受けた。X社が調査したところ、Y社は商標Aと類似する登録商標Bに係る商標権を有し、登録商標Bに係る指定商品は、X社の商品と類似することがわかった。ア～ウを比較して、X社の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア X社が販売している商品は登録商標Bに係る指定商品とは区分が異なっており、X社が販売している商品に商標Aを使用しても登録商標Bに係る商標権の侵害に該当しないので、商標Aの使用を継続することとした。
- イ 商標Aの使用が登録商標Bに係る商標権の侵害に該当する場合には、X社は商標Aの使用が差し止められるとともに損害賠償の責任を負う場合がある。
- ウ Y社の商標権は、1カ月後に存続期間の満了により消滅するので、商標Aを継続して使用することにした。

問 19

新聞社X社の法務部の部員甲は、様々な著作物について、他の部員に説明している。ア～ウを比較して、甲の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「二次的著作物とは、例えば、フランス語の小説を日本語に翻訳したものや、漫画を映画化したもののことを指します。」
- イ 「新聞や雑誌等の記事が事実の伝達にすぎない事柄ばかりを掲載していたとしても、その素材の選択又は配列によって創作性を有するものは、編集著作物として保護されます。」
- ウ 「単なるデータベースであっても、それに含まれるデータ（情報）のいずれかに著作物性が認められるものは、データベースの著作物として保護されます。」

問 20

文房具メーカーX社は、新規なボールペンに係る発明について、特許出願Pを出願した。ア～ウを比較して、出願公開に関して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 特許出願Pについて、出願公開の請求をした後に、当該出願公開の請求を取り下げることができる。
- イ 特許出願Pの出願公開を中止するためには、出願公開前に特許出願Pを取り下げる必要がある。
- ウ 特許出願Pの特許掲載公報が発行された後に、出願公開公報が発行される場合がある。

問 2 1

ア～ウを比較して、人工知能開発会社であるX社が意匠登録出願した画面デザインのソフトウェアに係る意匠Dに関して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 特許庁長官は、裁判所から請求があった場合には、秘密意匠に係る意匠Dを意匠権者以外の者に示さなければならない。
- イ X社は、意匠Dの登録後に、意匠Dに係る画面デザインのソフトウェアの販売を開始したので、意匠Dの秘密請求期間の短縮を請求した。
- ウ X社は、登録査定の際の本送達後、意匠公報の発行前であれば、いつでも意匠Dについて秘密請求することができる。

問 2 2

家電メーカーX社の知的財産部の部員は、Y社が、X社の主力事業であるエアコン事業に新たに参入し、新規な製品Aを開発したことに関する新聞発表の記事Bを読んだ。ア～ウを比較して、部員の対応として、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 記事Bを調査し、製品Aが権利範囲に属する可能性のあるX社の特許権を抽出するとともに、存続期間が満了した特許権については、存続期間の延長登録出願をすることとした。
- イ 記事Bを調査したところ、製品Aに係る発明が、明細書には記載されているが特許請求の範囲には記載されていないことがわかったので、特許権の分割により特許請求の範囲に追加することとした。
- ウ 記事Bを調査し、製品Aが権利範囲に属する可能性のあるX社の特許権を抽出するとともに、まだ審査されていない特許出願については、出願当初の明細書等の範囲内で特許請求の範囲に製品Aが含まれるように補正することとした。

問 2 3

ドローンメーカーX社は、新規なドローンAを開発し、ドローンAを展示会に出展した。ドローンAについて、X社の知的財産部の部員は新規性喪失の例外を適用した特許出願Pを検討している。ア～ウを比較して、X社の知的財産部の部員の考えとして、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 新規性喪失の例外を適用した特許出願Pを出願する場合には、展示会の出展日から1年以内に出願する必要がある。
- イ 新規性喪失の例外の適用を受けようとする旨及びいわゆる証明に係る書面は、特許出願Pの出願日から30日以内に提出すればよい。
- ウ 展示会への出展は「特許を受ける権利を有する者の行為に起因して」に該当するので、特許出願Pについて、新規性喪失の例外の適用を受けることができる。

問 2 4

レコード製作者であるX社の法務部の部員が、音楽と著作権との関係について検討している。
ア～ウを比較して、部員の考えとして、最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 音楽の著作物のうち、作詞家と作曲家が別人のものについては、両者の共同著作物に該当することとなるので、両方でその著作権を共有することになる。
- イ 焚き火の音を収録しただけのレコードについては、著作物性が認められないから、他人が無断でその音をインターネット配信したとしても、レコード製作者はこれを差し止めることができない。
- ウ レコードに固定されている音を最初に固定した者は、レコード会社でなくても、誰でもレコード製作者となり、複製権、送信可能化権、譲渡権などを享有することになる。

問 2 5

ア～ウを比較して、意匠の登録要件に関して、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 意匠登録出願に係るアイロンの意匠が、意匠登録出願前に頒布された雑誌に掲載されたアイロンに係る意匠と類似する場合には、当業者が容易に創作することができた意匠であるとして拒絶される。
- イ 意匠登録出願に係る置物の意匠が、東京タワーの形状を、ほとんどそのまま置物として表したにすぎない意匠である場合には、当業者が容易に創作することができた意匠であるとして拒絶される。
- ウ 意匠登録出願に係るマッサージ器の意匠が、意匠登録出願前に中国で発売されたマッサージ器に係る意匠と同一である場合には、新規性のない意匠であるとして拒絶される。

問 2 6

家電メーカーX社は、新規な空気清浄機を開発するにあたり、社外のデザイナー甲が創作したフィルターAの使用を予定しており、甲が有するフィルターAに係る意匠権Dについて、実施許諾を検討している。X社の知的財産部の部員乙が特許調査を行ったところ、甲はフィルターAについて特許出願Pもしていることがわかった。ア～ウを比較して、乙の発言として、最も不適切と考えられるものを1つ選びなさい。

- ア 「特許出願Pが出願中であっても、仮通常実施権の許諾に関する契約を締結することができません。その後特許出願Pが登録された場合、新たに通常実施権の許諾に関する契約を締結する必要はありません。」
- イ 「特許出願Pが登録された場合、当該特許権と意匠権Dとはそれぞれ独立した権利であっても、両権利について実施権の許諾を受ける契約を締結する必要はありません。」
- ウ 「特許出願Pは、意匠権Dに係る意匠登録出願よりも後に出願されていますが、特許出願Pは登録される可能性があります。」

4 問27に答えなさい。

問27

自転車メーカーX社は、X社の従業員がした発明について2024年11月1日に特許出願Pをした。この場合、特許出願Pの出願審査の請求をすることができる最終日が属するのは西暦何年何月か、記入例に従って算用数字で記入しなさい。

記入例 西暦2010年1月の場合は、左詰めで「201001」と記入

5 次の発言は、文房具メーカーX社の知的財産部の部員が、商標法の目的、登録要件に関して発言しているものである。問28～問30に答えなさい。

「商標法の目的は、商標を保護することにより、商標の使用をする者の 1 を図り、もって産業の発達に寄与し、あわせて 2 することを目的としています。そのため、商標登録出願人は、商標登録を受けようとする商標を自己の業務に係る商品又は役務について、 3 が必要です。」

【語群V】

- ア 公正かつ自由な競争の促進
- イ 需要者の利益を保護
- ウ 業務上の信用の維持
- エ 国民経済の健全な発展に寄与
- オ 現実に使用している
- カ 少なくとも使用する意思を有する

問28

【語群V】の中から空欄 1 に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

問29

【語群V】の中から空欄 2 に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

問30

【語群V】の中から空欄 3 に入る語句として最も適切と考えられるものを1つ選びなさい。

【第49回知的財産管理技能検定】

【3級実技】

番号 正解

問1 ×

問2 ウ

問3 ×

問4 ア

問5 ○

問6 ウ

問7 ×

問8 ウ

問9 ウ

問10 イ

問11 ウ

問12 ア

問13 ア

問14 ウ

問15 ウ

問16 ア

問17 ア

問18 イ

問19 ウ

問20 ア

問21 ウ

問22 ウ

問23 イ

問24 ウ

問25 ア

問26 イ

問27 202711

問28 ウ

問29 イ

問30 カ